

気道管理アルゴリズム(JSA-AMA)を理解しよう

Japanese Society of Anesthesiologists Airway Management Algorithm

*浅井 隆¹

*TAKASHI ASAI¹

1. 獨協医科大学越谷病院

1. Dokkyo Medical University Koshigaya hospital

2014年に、日本麻酔科学会により気道管理アルゴリズムが発行された。それまで米英の学会などが気道確保困難な症例の気道確保法のガイドライン、アルゴリズムを発行していたが、地域により麻酔法および気道確保法に違いがあるため、日本独自の気道管理法についてのガイドラインが策定された。

全身麻酔中の気道確保により重篤な合併症が起因されることはまれである。しかし、“気管挿管不可、酸素化不可”の状況になった場合には致死的となる。

飛行機や船舶などで危機的事態が起きた場合の行動に関しては、スタッフ全員が対策法の知識のみならず、シミュレーション訓練を常日頃行っている。それと同様に、麻酔科医も気道管理アルゴリズムから気道に関する危機管理法の知識を得、“気管挿管不可、酸素化不可”などの危機的状況が起こった際に直ちに適切な行動ができるような訓練をしておく必要がある。今回、アルゴリズムの解説とともに、その利点および限界点、そして活用法などについて述べる予定である。